

OYABE VOICE

2026年
冬
号

おやべ市議会だより | No.220 2026.2

議員は市民の代表、あなたの声を聴き市政に届けています。そんな議会の活動をお伝えします。



特集

P
T
A
活動



PTA会長と 学校教育を語る

令和7年11月11日に市内4中学校のPTA会長と市PTA連絡協議会の会長にご参加頂き意見交換会を実施しました。PTA活動の現状・課題から子供たちを取り巻く環境について意見交換をさせていただきました。



大谷中学校PTA
副会長 川上 数成 氏

津沢中学校PTA
会長 大田 広樹 氏

石動中学校PTA
会長 吉原 時敬 氏

蟹谷中学校PTA
会長 山口 壘 氏

小矢部市
PTA連絡協議会
会長 柿本 悠希 氏

皆さんのPTA活動について教えてください。

吉原 コロナで一旦、各種活動がストップしました。そこから再開するにあたっては、現在に合うような形態を模索しながら活動しています。文化祭のバザーもコロナで休止し、再開後は市内のお店で買ったものを子供たちを選ばせるなど工夫して活動を行っています。PTA役員の中には、そこまでする必要があるのかなど様々な意見があり、来期よりバザー委員会を無くすことになっています。

川上 交通安全の取り組みやあいさつ運動などは、子供たちの様子を身近で観る良い機会だと思っています。

大田 運動会や学習発表会の来賓で呼んで頂くときに、生徒の成長を間近で感じられるところが嬉しいです。PTAが企画するステージとして学習発表会の中で30分ほどの枠を設けていただいております。卒業生でサックス奏者の北島さんをお呼びして、吹奏楽部の副部長の石畠さんと一緒に演奏会を開催することができて、会場が良い雰囲気だったことが良い思い出です。



▲ 津沢中学校学習発表会でのPTAステージの様子

山口 保護者の負担軽減のためにLINEを活用して会合を減らす工夫をしています。蟹谷では、PTAで集まることを年間で3回に抑えています。できる範囲で、みんなやっていくという思いで活動しています。

柿本 コロナで行事や活動が下火になつてきており、それを淋しいと思う方もいると思います。生徒数が減り、保護者の数も減っている中で、一昔前のような学習発表会のバザーなどを実施することは現実的には難しくなっていると感じています。



部活動の在り方について どう考えますか。

山口 学校の部活と並行して地域移行のクラブもある状況です。部活は平日のみで時間も短く、勝利を目指すには練習量が足りないかと生徒たちが感じています。バレー部でいうと、練習場所が市内で転々としているため、送り迎えができない生徒は地域移行のクラブに参加していません。同じバレー部の中で、どうしても技術の差ができます。差ができると面白くなくなり、積極的に出てこれなくなる生徒もいます。地域移行で人数が増えて練習ができる良い面があれば、各家庭の都合で諦めている生徒がいることが残念であり、改善策がないかと思っています。

学校生活において、もっと 充実してほしいものは。

吉原 冷水機が故障して、教育振興会からご寄付していただいたが、設備が充実しているとは言えないので、整備をお願いしたいです。石動中学校ではトイレが臭うので、修繕をお願いしたいです。

川上 各部活動から年2回、PTAは購入や修繕などの要望を受けています。それを教育後援会からの寄付金を原資にPTAの予算で出しています。しかしながら、部活動の地域移行が始まったことで線引きが難しくなっています。また、全ての希望に応えられていないので、市の教育委員会で予算を付けてもらえたら嬉しいです。



山口 14歳の挑戦について、蟹谷中学校は他の学校に比べて地域にお店が少なく、受け入れていただけの事業所も限られているため、選択肢が限られるという課題があります。可能ならば、中学校区に関係なく、小矢部市内全体で生徒が希望する事業所に行ける仕組みができればいいと思います。

吉原 街灯をもっと増やしてほしい、防犯カメラを設置してほしいという声がPTAでアンケートを取ると多かったため、安全面の対策を強化してほしいです。



柿本 今後、小中学校の統廃合の話も進んでくると思いますが、統合する学校の児童生徒への配慮もしっかり取り組んでほしいです。子供たちが小中学校の生活は楽しかったなあと思っても、それが大事だと思います。それが、小矢部に戻るにつながります。



▲ 大谷中学校PTA活動の様子

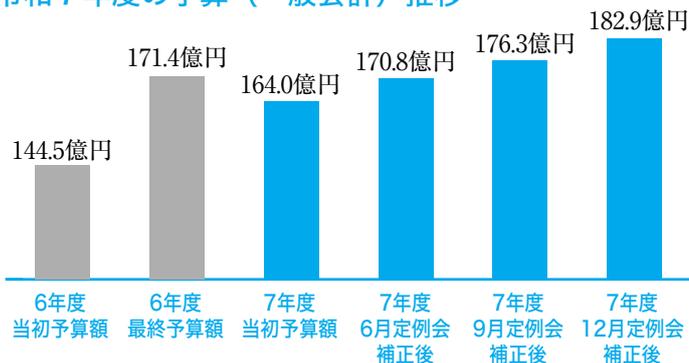


▲ 蟹谷中学校PTA活動の様子

6 市民は知っておきたい 今定例会の注目の議案 つのポイント



令和7年度の予算（一般会計）推移



今定例会では、一般会計で約6億6,380.2万円の補正予算案が上程され、原案のとおり可決されました。

Point1

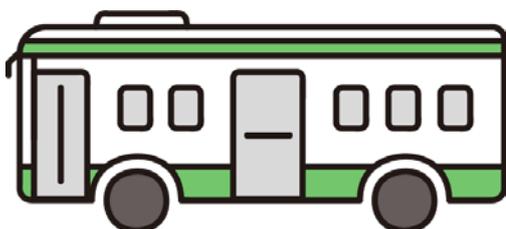
民営乗合バス路線維持対策補助金

加越能バスが運行する石動線、加越線、若林線の3路線の維持対策を目的としています。

バス事業における令和7年度営業実績（R6.10.1～R7.9.30）が令和7年9月30日締めで確定したことから不足見込み額を増額補正するものです。

補正前 **8,507.3万円** + 今回補正 **171.7万円**

補正後
= **8,679万円**



令和7年度の補正予算などを審査する

12月定例会

December

12月定例会では、上程議案「補正予算3件、条例13件、議員提出議案1件、決算認定7件、その他議案2件」を審査しました。



▲動画配信中

12月定例会の流れ

- 本会議

12/5(金) 10:00 -

市長による議案の提案理由説明
- 全員協議会

12/5(金) 10:50 -

担当部長等による提出された議案の説明
- 本会議

12/11(木) 10:00 -

12/12(金) 10:00 -

上程議案への質疑並びに市政に対する代表質問・一般質問
- 委員会

12/15(月) 14:00 - 民生文教常任委員会

12/16(火) 10:00 - 交通観光特別委員会

12/16(火) 14:00 - 総務産業建設常任委員会
- 本会議

12/18(木) 10:00 -

市長による追加議案の提案理由説明
- 全員協議会

12/18(木) 10:20 -

担当部長等による追加議案の説明
- 委員会

12/18(木) 13:00 - 民生文教常任委員会

12/18(木) 14:00 - 総務産業建設常任委員会
- 本会議

12/18(木) 16:00 -

議案の討論・採決など

議決結果は、11ページをご覧ください。

Point4

農地農業用施設の災害復旧

令和7年8月の豪雨災害で発生した農地農業用施設災害において、土砂災害や土砂搬出の応急対応に要する修繕を行うものです。

また、令和5年7月の豪雨災害で発生した小規模災害の復旧に要する事業費の精査に伴い不足する修繕料についても追加し対応します。

補正額

3億80万円



Point5

公共土木施設の災害復旧

令和7年8月の豪雨災害で被災した市道の災害復旧工事に要する測量業務委託料及び市道法面の崩壊箇所の工事請負費の不足分について補正し、速やかに工事に着手します。

補正額

1億1,061.2万円



Point6

議員提出議案 議員定数の見直し

市議会として定数を見直し、必要最小限で最大の効果を上げることが市民の負託に応えるべき使命と判断し、議員定数を16人から2人削減し、14人に改める議案を提出し、可決されました。

改正後の一般選挙から適用になります。



Point2

物価高騰に対応するための 緊急経済対策

物価高騰に対応するため、地方創生臨時交付金を活用した緊急経済対策を行います。

■子供たちの健やかな成長を応援するため、物価高の影響を受けている子育て世帯を支援します。

●物価高対応子育て応援手当

・対象者は、児童手当支給対象児童を養育する父母等です。

・応援手当は、

児童1人あたり20,000円です。



補正額 **7,049.1万円**

■エネルギー価格・物価高騰の影響を受けている市内施設が安定した福祉サービス等を提供できるよう支援します。

●障害福祉事業所物価高騰対策支援

補正額 **129.8万円**

●介護保険事業所等物価高騰対策支援

補正額 **805.5万円**

●民間こども関連施設物価高騰対策支援

補正額 **63.7万円**

●医療機関物価高騰対策支援

補正額 **164.9万円**



Point3

社会福祉施設復旧費補助金

令和7年8月の豪雨災害で被災した障害者施設の敷地崩落の復旧費を支援します。

補正額

260.5万円



定例会中の 質問や意見をご紹介します



今定例会中に上程議案や市政全般に対して、議員からあった質問・意見の一部をご紹介します。
なお、全ては掲載できないため、興味のある方はYouTubeの動画や議事録をご参照ください。

総務産業建設常任委員会

- 施設の名称(所在地) 小矢部市道の駅(小矢部市桜町1535番地1)
- 施設の設置目的 小矢部市の地域資源の活用、農産物等の地場産品の販売並びに観光情報及び地域情報の発信により、市民と来訪者の交流促進、地域産業の振興及び賑わいの創出による地域の活性化を図るとともに市民の安心・安全の確保を図る。
- 指定管理者として指定する団体名 株式会社石動まっちゃプロジェクト
- 指定期間 令和8年4月1日から令和9年3月31日まで



小矢部市道の駅の指定管理者の
指定について



問 指定管理期間が令和8年度の1年間となっている。指定期間終了後から新しい道の駅が運営されるまで1年あまり期間があるが、どう考えているのか。

答 今回提示した工程は、アドバイザーの指導及び国からの交付金等の機会も踏まえて引いたものである。
改めて1月から行うサウンディングの中で、民間事業者の意見を取り入れて、空白期間が生じないよう適正な運営をしていける方法を見極めていきたいと思

民生文教常任委員会

【学校の対応について】

- 小・中学校でのスマートフォンの持ち込みは、原則禁止となっている。
- スマートフォンの弊害等については、各学校において生徒や保護者等を対象にした講習会を行っている。



児童・生徒のスマートフォンの
利用について

問 家庭に帰ってからのスマートフォンの利用については問題も多と思うが、市としてガイドライン等を決める予定はないのか。

答 スマートフォンの使用やSNSの使用について、注意喚起する通知文を送付している。

問 大谷中学校では子供達がルールを決めているが、他の学校では行っていない。スマートフォンの使い方について注意するチラシを、市でも配布したらどうか。

答 図や表を使った分かりやすいチラシは作成していないので、今後検討していきたい。市内の学校の取組については、共通の内容で、統一的に取り組んでいけな

代表質問



会派「新政」
白井 中 議員

質問項目

- ・令和8年度予算編成
- ・公共施設等総合管理計画
- ・3年連続する激甚災害からの復旧

問 令和8年度当初予算の編成で、どこに主眼をおいて予算編成を組まれたのか問う。

答 新庁舎や新学校給食センターの整備費や、予算編成方針の中で重点事業推進枠に掲げた子育て世帯への支援や、安全・安心なくらしの実現関連事業などの五つの項目に対して優先的に予算づけを行うことに主眼をおいて取り組む。

問 ふるさと応援基金の現在の状況について問う。

答 寄附金受領額は5,525万2,000円となっている。

問 財政健全化判断比率の推計で、本市が危機的状況に陥ることはないのか。

答 将来を見据えた健全で持続可能な財政運営に向けて、市債残高や財政健全化判断比率などの推計を行いながら、投資的経費の選択と集中並びに平準化を図り、借入額の抑制に努めていきたい。

答 将来を見据えた健全で持続可能な財政運営に向けて、市債残高や財政健全化判断比率などの推計を行いながら、投資的経費の選択と集中並びに平準化を図り、借入額の抑制に努めていきたい。

社機能を総合保健福祉センター周辺施設に集約し、充実した連携が図られる福祉環境の整備を目指している。

問 3年連続する激甚災害からの復旧について、農業従事者が農業を諦めることなく、安心して就農し、生活することができると環境になるようにすべきと考えるが、当局の見解をお尋ねする。

答 今後、国の補助率増高申請等の手続や工事発注に向けた詳細設計を経て工事費の積算を行い、適切な時期に復旧に関する予算編成を実施し、地元関係者等と協議を行い順次工事を発注する。

問 総合保健福祉センター周辺の施設等の今後の構想についてお尋ねする。

答 基本的な方針として、福祉・子育てゾーンとしての機能をより一層強化し、市内の福

に、40万円以下の規模災害に対しても、地元負担なく全てのほうで費用を賄う。しっかりと市で対応することは全てやっていきたい。

に、40万円以下の規模災害に対しても、地元負担なく全てのほうで費用を賄う。しっかりと市で対応することは全てやっていきたい。



会派「未来共創」
林 登 議員

質問項目

- ・令和8年度予算編成
- ・持続可能な自治体経営
- ・あったか子育て日本一

問 令和8年度予算編成において、どのような費用対効果に重点を置いた事業の見直しに取り組むのか。

答 令和8年度小矢部市予算編成方針においては、経費の節減に加え行政手続や経常的な業務におけるデジタル技術の活用を推進し、既存の事務事業の在り方について見直しを行うこととしている。

問 人口が減少しても、市が管理する道路延長や上下水道の管路の総延長は年々伸びている。水道事業では布設から40年以上が経過した老朽管の延長は100キロメートルを超えている。下水道の管路新設をすればするほど、その維持管理費を使用料金では賄えず、一般会

答 計からの繰入が増え続ける。こういったインフラ整備に係る経費だけでなく、大変な負担になる。そこで、居住誘導区域以外での下水道整備の計画見直しを実施し、赤字の垂れ流しを少しでも止めるべきである。見解を問う。

問 令和8年度に予定している下水道経営戦略の中間見直しにおいて、社会情勢の変化に対応するため、将来にわたる経営状態を見極めるとともに、必要に応じて居住誘導区域以外である下水道未普及区域での整備の見直しを行うなど、下水道整備区域の変更を視野に入れた柔軟な対応が必要である。

問 宿泊型の産後ケア事業を近隣市で実施できないのか。

きないのか。
答 近隣市と協議し、令和8年1月から砺波総合病院に委託をし、実施する予定である。

問 全天候型の子供の屋内遊戯施設について現在の方針を問う。

答 総合計画後期実施計画の見直し作業における、令和8年度から令和10年度までの事業計画の精査の中で、まずは令和8年度から施設整備に向けた構想の策定に着手をし、進めていきたい。

問 市長は具体的にどのような子供の屋内遊戯施設がいいと思われるのか、市長の思いを確認したい。

答 児童の6年生ぐらいまでが本当に楽しんで遊べるような、そのような大型の遊具施設も何とかが入るような、そういったものをイメージして、これから整備していきたいと考えている。

イメージして、これから整備していきたいと考えている。

イメージして、これから整備していきたいと考えている。

YouTubeで代表質問の動画を配信中!! ▶
スマホで右記のQRコードをお読み取りください。



林 議員



白井 議員

一般質問



たにぐち たくみ 議員
谷口 巧

質問項目

- ・災害対策について
- ・高校の通学支援について
- ・小中学校の統廃合について

問 大規模災害時のト

イレ問題解決の為、ト

イレトレーラー導入と

防災井戸について問う

答 トイレトレーラー

を導入し助け合いジャ

パンに加盟すれば全国

各地から派遣を受ける

事が可能だが、課題も

あり調査検討していき

たい。防災井戸は既設

の消雪井戸を活用する

方向で検討している。

問 石動高校生からの

提言にあった部活後の

下校対策に、関係市と

協力し、夜間タクシー

料金の補助を求める。

答 高校生による夜間

タクシー利用補助につ

いては、市内タクシー

事業者が集まる場にお

いて意見を聞いてみた

い。

問 東部小学校の統廃

合がスムーズに行けば今

後の小中学校再編の手

本となる。関係者の声

をよく聞き進めて頂き

たい。

答 小中学校再編推進

地域協議会を設置し、

保護者や地域の声をし

っかりと協議し決定し

ていく。統合した後も

今回がモデルケースと

なるように、今後も進

めていきたい。

議員のひとこと

能登半島大震災では

全国各地から避難所に

トイレトレーラーが集

まり、避難された方は

助かったと言っておら

れた。小矢部市でも導

入し、助け合いの輪に

入って頂きたい。



やまだ よしはる 議員
山田 吉晴

質問項目

- ・農業を取り巻く諸課題
- ・Uターン関連の取組み
- ・プレイアースパークに
関する取組み

問 有機農業に係る各

種団体による協議会組

織の設立について問う。

答 現在取組んでいる

面積の拡大を進め、新

規の取組希望者に対し

て環境保全型農業直接

支払制度の支援内容を

周知し、活用を進めて

いただき、有機農業者

の機運の高まりや、地

域ぐるみでの取組面積

の拡大等の状況を見極

め、JAいなば等関係

機関と協議を行ってい

きたい。

問 おやべファンクラ

ブが設立されることで

もあり、Uターンを促

進するために、あらゆ

る事業を総動員して、

ふるさと回帰に取組ん

でいただきたいが、市

の見解を問う。

答 おやべファンクラ

ブの設立後は、会員を

増やして、関係人口を

増やす取組みを進める

とともに、様々な情報

なども配信し、Uター

ンによるふるさと回帰

につながるよう取組む

問 南砺市でのプレイ

アースパークの開業に

当たって、本市でもそ

れに関連して、観光振

興や交流人口増加につ

ながる取組みをすべき

と考えるがいかがか。

答 本市にも訪れてい

ただけるように、南砺

市との情報共有など連

携強化を図るとともに、

本市の観光の魅力の積

極的な発信に努める。

議員のひとこと

今回、農業者の野焼

きの要望を取上げ、初

級燐炭を例に質問した

が、今後も全国的狀況

を見極め、適切な対応

を考えていきたい。



なかだ まさき 議員
中田 正樹

質問項目

- ・ふるさと納税制度につ
- いて
- ・避難所の空調整備につ
- いて

問 ふるさと納税に、

行政としてもっと積極

的に取り組むべき。

答 自主財源の確保等、

極めて重要である。

問 事業者の協力を得

て、ホテルニューオー

タニ監修で、お節料理

を返礼品にできないか。

答 返礼品は、事業者

自身の経営判断による

ものと考えている。

問 企業とのコラボで、

通学用バックパックを

返礼品にできないか。

答 地場産品基準の要

件がある。実現可能性

の調査、課題の整理を

進めていく必要がある。

問 自治体間の過当競

争の中、小矢部市は埋

もれてしまっている。

答 行政による主体的

な返礼品の開発は、公平

性を重視すべき行政の

立場として適切でない。

問 ふるさと納税によ

る自治体の減収分への

補填の財源は何か。

答 地方交付税の財源

が充当されている。

問 防災体制の充実に

は必要不可欠な制度で

ある緊急防災・減災事

業債は延長されるのか。

答 11月に、林総務大

臣から、事業期限を延

長する方針が示された。

問 市民体育館の空調

整備の見通しを問う。

答 多額の費用が必要

であり、後期実施計画

ローリングの中で検討

を進めている。

議員のひとこと

人口減少が続く、歳

入増加策は、行政の最

重要事項である。にも

かわかわらず、事業者任

せで、返礼品開発をや

らない。行政マンの今

後の奮起に期待したい。

◀ YouTubeで一般質問の動画を配信中!!
スマホで左記のQRコードをお読み取りください。



中田 議員



山田 議員



谷口 議員

一般質問



いしだ よしひろ 議員
石田 義弘

質問項目

- ・観光行政について
- ・転作物物について
- ・いじめ等の対策
- ・ハラスメント対策

問 「寿司といえば、富山」のキャッチフレーズがあり、イベントなどでPRしているが、「小矢部といえど何」を連想し、今後取り組みののか。

答 自然豊かで歴史口マンあふれる観光地が多いという表現を前面に打ち出して、観光PRに努めている。

問 「緑豊かな」では、どこへ行っても同じになってしまう。

答 小矢部市以外の方から、どう見えるかも参考にして、キャッチフレーズをつくっていきけるようにしたい。

問 大麦、大豆の転作物物について、今後の対策の考え方を問う。

答 本市独自の取組として、重点作物品質向上補助金により、転作物物の品質向上を支援している。農業経営者が安定的に転作物物を生産できる環境を整えることが重要である。

問 いじめの対応について、どのような取組をしているのか。

答 悩みを抱える児童生徒等へのきめ細かな対応の実施、いじめ問題への取組の徹底、ネットトラブルの未然防止などの教職員研修を実施している。

問 カスタマーハラスメントのガイドライン、マニュアルの策定はどうなっているのか。

答 来年12月にカスタマーハラスメントの防止措置を講ずることが義務化されるが、それまでに、対応指針、対応マニュアルを策定する。



いしましよじ しんじ 議員
石間 庄二

質問項目

- ・本市の具体的魅力
- ・「小矢部市立地適正化計画」の見直し
- ・地籍調査の必要性

問 小矢部市立地適正化計画等の目的にある市の具体的魅力とは。

答 様々な事柄を指しており、一例として、安心して生活できるまちの構成要素の子育て、保育サービスのきめ細かさや地域住民のつながりの強さなど、また、日常の暮らしに安らぎをもたらす豊かな山々、里山や田園の景観も本市らしい資源で魅力の一つである。

問 見直し時期にある立地適正化計画を8年度に見直すべきでは。

答 計画の見直しは令和8年度にこだわることなく、現在進めている石動東部地区の開発促進とその後市街化を見据えた新たな課題の整理も行い、現行施策の効果を検査し、適切

な時期に行う。

問 用途区域内への店舗等商業施設の進出や空き家跡地の売買などが円滑に行われるよう地図混乱地域の全面的な解消に向けた地籍調査が必要。

答 地図混乱地域の存在は、公図と現地の形状が大きく異なり土地や建物の売買が困難となり、流通、活用の促進が阻害されるほか、相続等様々な問題が発生する要因。今後のまちづくりに向けた方向性としてのコンパクトシティ形成のためには、既成市街地となる用途地域内全ての地図混乱地域解消は有効であり、石動東部地区をスタート地点として地籍調査を着実に進めていく必要があると考える。



しまだ ゆきえ 議員
嶋田 幸恵

質問項目

- ・御製碑建立後の活用と管理
- ・老障介護について
- ・小矢部市一般事務封筒について

問 御製碑建立後の整備、維持管理、今後の活用について問う。

答 御製碑が建立された場所の管理は都市建設課が担う。観光PR、誘客については観光課が対応していく。

問 寿永荘跡地の公園整備について問う。

答 整備については勘左衛門池の耐震化整備の進捗状況にあわせて取り組む。

問 老障介護が心配される中、手をつなぐ育成会との接点について問う。

答 手をつなぐ育成会では成年後見制度講座を実施されており、障害のある子を世話する家族に有用な情報の提供にも取り組まれていることから、この活動を支援しながら成年後見

制度の普及啓発のため、連携を図ってまいりたい。

問 現在使われている事務用封筒に対する市の認識と再考を問う。

答 平成28年から約10年を経過している。今後、新庁舎整備などを契機として封筒デザインの見直しについて検討していく。

問 市内の公園整備について問う。

答 今後、公園の設置や集約など、制度上の課題の整理や事例調査も行い市民に必要とされる公園づくりを検討していく。

問 総合保健福祉センター跡地利用を問う。

YouTubeで一般質問の動画を配信中!! ▶
スマホで右記のQRコードをお読み取りください。



嶋田 議員



石間 議員



石田 議員

一般質問



ふじもと まさあき 議員
藤本 雅明

質問項目

- ・小学生のランドセル問題について
- ・「公式ホッケータウン」について

問 本市小学校におけるランドセルの重量問題について問う。

答 一般的なランドセルは約1.1〜1.3kgですが、教科書やタブレット端末を加えると4kgを超える。ICT教育の推進により小学生の通学時の負担は以前より重くなっている。

問 市内企業通学用リュックの無償配布について問う。

答 地元企業製作のリュック無償配布は、ふるさとへの愛着心の醸成が期待できる一方、年間約320万円の一般財源が必要となるため、今後の予算編成の中で検討していく。

問 ホッケータウン認定の意義と市の基本姿勢について問う。

答 ホッケーのまちおや



べとして、市内外への情報発信を強化し、少子高齢化の中でも市民が親しめる環境づくりや競技力の維持・向上を図っていく。

問 小矢部市鳥獣被害対策（クマ含む）について問う。

答 本市では、人的負担軽減を目的とした効果的な取組として、県のAIカメラ実証実験を参考に、令和8年度にAIカメラの試験導入を検討している。

議員のひとこと

ホッケータウンを生かしたまちづくりで小矢部市を元気にしましょう。



うえだ ゆみこ 議員
上田 由美子

質問項目

- ・庄川水源地の産廃処分場建設について
- ・包括的性教育の必要性について

問 庄川の水源地である岐阜県の六厩（むまや）で計画中の産廃廃棄物最終処分場について、市長は反対を表明されるべきではないか。

答 庄川の水は、市で農業用水や地下水として使われ、水道水の一部は庄川の地下水である。関係法令に基づき適切に審査が進められると考えている。

問 市は、この建設をやめさせるためにどのような対策を取るのか。

答 現段階で、市内の地下水や河川水など環境への影響を推し量ることは大変難しく、建設計画や他市の動向を見極めながら検討する。

問 今、学習指導要領の小学5年生理科で「人の受精は取り扱わ

ない」、中学生の保健体育で「妊娠の経過は取り扱わない」として

いるが、この「はじめ規定」の撤廃を訴えている。ユネスコ発表では、自分と相手を大切に

する方法を学ぶ「包括的性教育」が必要であると

言われているが、市ではどうか。

答 今のところ行っていない。しかし、今後保健体育科、社会科の人権教育などで学んだことを教科横断的に実践できるようにしたい。

議員のひとこと

教員の時間外労働は、2024年度の月平均が小学校で平日39時間、休日30分、中学校で平日41時間30分、休日は10時間30分とのこと、少人数学級を進めることが改善につながる。



かどう ゆきお 議員
加藤 幸雄

質問項目

- ・シティプロモーション事業
- ・ふれあいハウス、ふれあい動物広場

問 シティプロモーション事業の効果と課題について問う。

答 フォトコンテストや郵便物用シールについては成果があったが、小矢部市の愛着や誇りの醸成については目に見える改善はない。

問 令和6年度の成果指標、今後の取組について問う。

答 個人分ふるさと納税申告件数は目標1300件に対して3711件、OYABEふるさと通信局の登録者数は目標1000人に対して

2017人と目標を大幅に上回っている。今後はおやべファンクラブ、公式ホッケータウン、アウトレットモール等との連携事業に取り組みたい。

問 クロスランドおやべのふれあいハウスに

ついて問う。

答 平成29年度に改修され、令和6年度の利用者はおよそ2万4000人である。雨天時や真夏時の休憩場所として整備したが空調設備はない。さらなる改修については多額の費用を要することから慎重に検討していきたい。

問 ふれあい動物広場の状況について問う。

答 入園者は1万301人で令和6年度の3分の2程度、夏場の気温が高く屋外展示ができなかった。新メルヘン調への改修については多大な事業費が必要であり実現は困難である。

議員のひとこと

新施設の整備は前向きだが、現有施設等の改修改善に後ろ向きではないか？

◀ YouTubeで一般質問の動画を配信中!!
スマホで左記のQRコードをお読み取りください。



加藤議員



上田議員



藤本議員



12月定例会の議決結果



▼ 全会一致（全員賛成）で議決された議案

議案番号	議案名	議決結果
議案第 47 号	令和 6 年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分について	可決
議案第 48 号	令和 6 年度小矢部市下水道事業会計剰余金の処分について	可決
認定第 1 号	令和 6 年度小矢部市一般会計歳入歳出決算	認定
認定第 2 号	令和 6 年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定第 3 号	令和 6 年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定第 4 号	令和 6 年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定第 5 号	令和 6 年度小矢部市東部産業団地事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定第 6 号	令和 6 年度小矢部市水道事業会計決算	認定
認定第 7 号	令和 6 年度小矢部市下水道事業会計決算	認定
議案第 49 号	令和 7 年度小矢部市一般会計補正予算（第 4 号）	可決
議案第 50 号	令和 7 年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決
議案第 51 号	小矢部市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決
議案第 52 号	小矢部市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び市長等に対する給料等の支給に関する条例の一部改正について	可決

議案番号	議案名	議決結果
議案第 53 号	小矢部市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
議案第 54 号	小矢部市職員等の旅費に関する条例等の一部改正について	可決
議案第 55 号	小矢部市行政手続条例の一部改正について	可決
議案第 56 号	小矢部市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	可決
議案第 57 号	高岡市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について	可決
議案第 58 号	射水市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について	可決
議案第 59 号	氷見市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について	可決
議案第 60 号	砺波市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について	可決
議案第 61 号	南砺市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について	可決
議案第 62 号	小矢部市道の駅の指定管理者の指定について	可決
議案第 63 号	小矢部市文化スポーツセンター等の指定管理者の指定について	可決
議案第 64 号	令和 7 年度小矢部市一般会計補正予算（第 5 号）	可決

▼ 賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対 —：議長は表決に加わりません

議案番号	議案名	議決結果	山田吉晴	石間庄二	上田由美子	林登	竹松豊一	谷口巧	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵
議員提出議案第 3 号	小矢部市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○

議会

Q&A

議会Q&Aでは、市民の皆さんの疑問にお答えいたします

議会へ意見を届けるには、どんな方法がありますか？

市民は、市政についての要望や意見を議会に提出することができます。議員の紹介があるものを「請願」、ないものを「陳情」と呼んでいます。宛名を市議会議長として議会事務局へ直接持参してください。

市議会議員と意見交換しませんか？参加団体を随時、募集しています。

※詳しくは、市議会ホームページを



【資料】過去の請願・陳情の受付状況

年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
受理数	1	4	1	4	2

▶ YouTubeの動画配信や議事録にて、全ての質問と答弁をみられます

TOPICS 1

交通観光特別委員会で行政視察を実施しました

- 視察日 11月5日(水)～6日(木)
- 視察先・視察内容

＜岐阜県各務原市：広域公共交通について＞

各務原市では、地区ごとにふれあいバス路線やデマンドサービスを設定していた。同市の川島地区は、隣接する岐阜県笠松町からの要望を受けて、乗り継ぎで相互に市域を移動できる「チョイソコかわしま」を運行していた。

＜岐阜県大野町：道の駅「パレットピアおおの」の整備等について＞

平成30年に開駅した大野町の道の駅では、指定管理料は0円、赤字であっても毎年一定の金額を町に納めること、黒字であれば利益の20%は町に納める条件で、指定管理者と契約を結んでいた。

＜岐阜県郡上市：道の駅「古今伝授の里やまと」の整備等について＞

郡上市では、地域を創るをテーマに、交流館やレストラン、展示館、温泉施設などを増設する形で平成13年に道の駅「古今伝授の里やまと」を開駅された。東海エリアの道の駅の人気ランキングで1位となるなど、社会的評価も高く、令和2年には外資系のホテル誘致にも成功していた。



TOPICS 2

議会改革の取組

- 議員報酬の見直しについて

令和8年1月5日(月)

○議会改革特別委員会から中間報告をうけ、議長から市長に対し、「議員報酬」の見直しに関する審議を小矢部市特別職報酬等審議会に諮問するよう申し入れました。



詳しくは市議会ホームページをご覧ください。



TOPICS 3

議会報告会2025

議員と語ろうみらいトークを開催しました

- 開催日時 10月9日(木) 午後7時～8時50分
- 開催場所 市民交流プラザ
- テーマ「議員活動と成り手不足」
 - 「議員活動と成り手不足」について報告しました。
 - 12グループに分かれてワークショップを実施し、活発な意見交換ができました。



実施報告書はこちら➡



3月 定例会のお知らせ

次の定例会は3月5日から24日までの20日間の予定です。ぜひ、本会議や委員会を傍聴しにお越しください。

※青色の文字はYouTubeにて生放送を行う予定です。ケーブルテレビでは、定例会終了後、一部を録画放送予定です。

3月	5日(木)	10:00～	本会議	提案理由説明
	11日(水)	10:00～	本会議	代表・一般質問
	12日(木)	10:00～	本会議	一般質問
	13日(金)	10:00～	委員会	予算特別委員会
	16日(月)	10:00～	委員会	予算特別委員会
	17日(火)	10:00～	委員会	予算特別委員会
	18日(水)	14:00～	委員会	民生文教常任委員会
	19日(木)	10:00～	委員会	交通観光特別委員会
		14:00～	委員会	総務産業建設常任委員会
	24日(火)	15:00～	本会議	質疑、討論、採決

令和8年5月の予定です。

今回の「OYABE VOICE」は、

(広報広聴委員会委員 林記)

12月定例会では、議員定数を2減にする議員提出議案について賛成多数で可決しました。また、1月5日には、議長から市長に対して議員報酬の見直しについて、報酬等審議会の開催の依頼がされました。地方議会とはどうあるべきか、その明確な答えはどこにも書いてありません。我々議員が、小矢部市議会はどうあるべきか、市民の方を向いて真剣に考える以外に他ありません。引き続き、広報広聴に力を入れて取り組んでまいります。

編集後記



市議会ホームページ



市議会公式Facebook